

防衛大臣 中谷 元 様

松本空港に着陸した米軍機に係る緊急要請

令和7年3月28日

長野県知事 阿部 守 一

令和7年3月25日、米軍普天間基地所属の2機の米軍機（オスプレイ）が、長野県の松本空港に予防着陸し、民間航空機の運航に支障が生じるという極めて深刻な事態が発生しました。地域住民からも、不安や恐怖を覚えたとの声や、詳細な経過や原因究明、再発防止の説明を求める声が県に寄せられています。

日米安全保障条約など外交・防衛政策の重要性については、我々としても十分認識し、協力する必要があると考えています。一方で、生活の安全・安心を確保することも地方自治体の最大の使命であり、米軍機の飛行で、その安全性が懸念されるような住民からの声は、自治体もしっかり受け止めて対応していかなければいけないものと考えています。

政府におかれては、現状を深く認識いただき、県民や観光客の安全・安心に深刻な影響を及ぼすことがないように、次のとおり要請します。

## 記

- 1 今後こうした事態を起こすことのないよう、航空機等の安全管理と再発防止に万全を期すことを米側に求めること。
- 2 今回の予防着陸の原因について、事実関係を明確にするとともに、県、関係市町村及び地域住民に対し、迅速かつ詳細な情報提供を行うこと。
- 3 日米地位協定を見直し、航空法などの国内法を原則として米軍にも適用させること。あわせて、長野県・松本市・空港地元4地区による協定において、「松本空港を軍事目的の用に供さないものとする」と定めていることに十分留意すること。